

# 2023 年度事業計画

## I 施設の設置・運営事業 《公益目的事業》

WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営。

☆ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

☆ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付)

※WAC(ウエルイェンゲ)コミュニティ事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域会員の退会防止を軸に、「パーソナルトレーニング・ダイエットコース」等新たな取組を導入し、新規入会を促進。
- ・地域会員数増加に向け、クラブ商圏のエリアを4kmと更に拡大し、ポスティングを定期的実施。ポスティングチラシ内容を一新し、広報・宣伝活動を強化。
- ・定期的な館内のリニューアルを計画し、「安全」「清潔」「便利」な施設設備を整え、顧客満足度の向上を図る。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・感染症対策を強化し、「安心・安全」のクラブ運営を進める。またイベント等を実施し利用者数増加に向け、運動で健康寿命を伸ばすサポートを実施。
- ・燃料費削減策および節電対策を徹底実施し、効率運営(労務費、水道光熱費、消耗品費等の見直し)を継続。
- ・松戸市健康増進イベントへの協力を継続。また感染対策を十分に講じた上で地域イベントに参加し、地域活性・地域貢献に努める。

## ② 診療所

「ニッセイ聖隷クリニック」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC第1号施設付置診療所)

地域社会との連携・交流

- ・在宅部門との連携を更に強化し、レスパイト入院を受入れ地域貢献に努める。
- ・新型コロナ関連の補助金、診療報酬等の臨時的対応の終了を想定し、オンライン診療や新たな加算算定など新たな診療体制を構築。
- ・プロジェクトチームにより電子カルテへの移行をすすめ、2024年3月の本稼働を予定。

「松戸ニッセイ聖隷クリニック」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC第1号施設付置診療所)

地域社会との連携・交流

- ・部門間連携を強化し、専門職の特性を活かしたチーム医療を実践して利用者へ安心・安全な医療を提供。
- ・感染予防、感染拡大防止を徹底しながら外部からの受け入れを継続し、地域への貢献、地域医療連携の充実に努める。

## ③ 高齢者総合福祉センター

「ふれあいプラザ」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC2号施設)

地域社会との連携・交流

- ・2020年度より中止しているホールイベントについて、感染・社会状況を見極め、再開を検討。
- ・新規講師の獲得のため外部企画調査を積極的に行い、中期的な教養講座の安定的開催を目指す。

「ニッセイ松戸アカデミー」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC2号施設)

地域社会との連携・交流

- ・これまで蓄積してきた介護予防に重点を置いたノウハウを地域の方にも還元できるイベント企画を継続。また、気軽に参加できる1日や数回で完結する短期のイベントを新たに開催。
- ・新しい生活様式を意識して自宅からでも参加できるように、オンラインイベント(リアルタイム配信/アーカイブ配信)としてコンサートや講演会を定期的に配信。
- ・イベントに合わせて地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売場所として積極的に活用してもらうことにより、地域支援・交流を継続する。

#### ④ 在宅介護サービスセンター

「ニッセイせいらい在宅介護サービスセンターヘル西大和店」

(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 3号施設)

地域社会との連携・交流

- ・河合町や近隣の地域包括支援センター・居宅介護支援事業者等との交流を深め関係性を構築し、更なる利用者の拡大を図る。
- ・地域で安心して生活できるよう、感染拡大時にも継続してサービス提供できる体制を整備。

「ニッセイエデン ヘルパーステーション」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 3号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域包括支援センター等関係機関と連携し、地域ニーズにこたえられるよう新規受け入れ態勢を整え、安定した経営を継続。
- ・「感染症対策の強化」「BCP 業務継続に向けた取組みの強化」「認知症への対応力向上に向けた取組みの推進」について各施設と連携しながら対策に取り組むとともに、職員の専門研修への参加により体制強化を図る。

#### ⑤ 有料老人ホーム

「奈良ニッセイエデンの園」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

1. 地域社会との連携・交流

- ・地域との災害時における防災協定締結（高塚台 1・3 丁目自治会）による協力体制を持続させるため、自治会の防災訓練や清掃など各種活動にも積極的に参加。
- ・近隣の河合第二小学校児童の下校見守りボランティアを入居者・職員で協力して実施。
- ・いきいき生活室を中心とし、ご入居者ボランティア「虹のわ」の活動を活性化し、「エデン版・地域包括ケアシステム」において、生きがい作りや共助の精神を育んでいけるよう取り組む。また、幼稚園の園児や地域住民との交流を更に深めていき、高齢者や子供たちが安心して暮らせるまちづくりに寄与できるよう努める。

2. 理念である「健康・生きがい・安心」のある生活を感じて頂けるよう健幸生活（造語）の推進を継続。「その人らしく生きる」ため認知症ケアの充実や人生会議、マイメモリーシート（入居者人生録）の活用をはじめ、心身の状態を問わず社会的孤立も見逃さない体制整備を構築。

3. 水光熱費を始めとする深刻化を極める物価高騰や採用困難などの不安定要素、また ICT 化、障がい者・外国人雇用など“多様な働き方”への対応など、直面する課題に主体的に取り組む基盤となる職員の心理的安全性への確保に取り組む。また、職場間の交換研修を推進し職員自身が WAC 施設の強みを認識し、各自の能力を最大限発揮できるよう努める。

4. 感染・自然災害における BCP（事業継続計画）を策定し、訓練等により非常時における体制を強化。

## 「松戸ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 W A C 第 4 号施設)

### 1. 地域社会との連携・交流

- ・地域包括ケアシステムにおける「住まい・住まい方」の選択肢の一つとして、質の高いサービスを提供する。
- ・隣接する東松戸病院や松戸愛光園との連携を図り、感染症や災害時における物資や人材の相互支援体制を強化することで、安心安全な地域づくりに寄与する。
- ・フードバンク活動への推進など、SDGs を意識した社会貢献活動に取り組む。

2. 入居者および入居検討者等から高い満足を得られるように各事業のサービスの質とブランド力の向上に努める。

3. コンプライアンスの徹底と、入居者を守るための感染予防や感染拡大防止対策、防犯対策の徹底を継続。

4. 「見守りシステム」や「ノーリフトケア」を安定稼働させ、サービス向上や業務効率化につなげる。

5. 原材料費の高騰による物価上昇、最低賃金上昇を踏まえた経営体制を構築する。

6. 材料費の適正化に注力しながら、「選ばれる食堂」に向けて喫食率アップを目指す。

## II 調査研究事業 《 公益目的事業 》

(1) W A C 事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の 4 分野(以下「4 分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

1. W A C 事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施。

- ・長引くコロナ禍の影響で、高齢者の交流も減少傾向にあることを踏まえ、京都大学の協力を得て、「高齢期におけるスマートフォン活用の効果に関する実証研究」を奈良ニッセイエデンの園内で実施する。高齢者 20 名を対象にスマートフォンを貸与し、年間通じて講座を開催しスマホの活用方法等を共有し、高齢者「QOL 向上」や「ICT 機器活用促進」の効果検証を行う。

2. 聖隷福祉事業団・日本老人福祉財団と共催する「有料老人ホーム実践研究発表会」にて、各施設の研究成果を通じて情報共有を行い、入居者に満足いただける施設運営を模索する。

(2) 地域住民等への 4 分野に関する情報提供活動の実施

1. 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4 分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへ参加する。
2. 11 月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続する。

### Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給。

「介護人材不足」解決の一助となるよう、介護福祉士等を目指し日本語学校に通う外国人留学生に対し、奨学金を支給。2022年度は、新型コロナウイルスの影響により一時休止したが、2023年度は入国制限緩和により再開することとする。

### Ⅳ 施設の設置・運営事業 《収益事業等 その他事業 1》

個々人の健康状態及び体力に合わせた適切な指導のもとで、運動、機能訓練を行うための施設を設置、運営し、健康維持、疾病予防に資するための事業のうち、60歳未満の利用者を対象とするもの。

#### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域会員の退会防止を軸に、「パーソナルトレーニング・ダイエットコース」等新たな取組を導入し、新規入会を促進。
- ・地域会員数増加に向け、クラブ商圏のエリアを4kmと更に拡大し、ポスティングを定期的を実施。ポスティングチラシ内容を一新し、広報・宣伝活動を強化。
- ・定期的な館内のリニューアルを計画し、「安全」「清潔」「便利」な施設設備を整え、顧客満足度の向上を図る。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・感染症対策を強化し、「安心・安全」のクラブ運営を進める。また「エデン入居者限定イベント」等を実施し利用者数増加に向け、運動で健康寿命を伸ばすサポートを実施。
- ・燃料費削減策および節電対策を徹底実施し、効率運営（労務費、水道光熱費、消耗品費等の見直し）を継続。
- ・松戸市健康増進イベントへの協力を継続。また感染対策を十分に講じた上で地域イベントに参加し、地域活性・地域貢献に努める。

## V 施設の設置・運営事業《収益事業等 その他事業2》

公益目的事業における介護を必要とする高齢者の家庭生活支援を目的とした施設（在宅介護サービスセンター）のサテライト拠点、また当該施設と関連・連携する医療、介護等各種施設の設置及びこれらの事業。

### ① 介護老人保健施設

「奈良ベテルホーム」（ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

#### 1. 地域社会との連携・交流

- ・多職種協働の下、在宅生活を見据えた機能向上、自立支援に資するサービス提供体制を強化し、在宅復帰を継続的に支援を実施。
- ・感染状況を見極めたうえで、河合町や社会福祉協議会と連携し、地域支援事業への参画とボランティア活動の再開を検討する。
- ・SDGs の取り組みを継続し、地域に貢献活動を実施。

2. 相談員と現場職員が共同して病院、居宅介護支援事業所等と連携を深め、「在宅強化型老健」として入所、通所リハビリテーションの稼働率を維持することで経営の安定を目指す。

3. 新型コロナウイルスをはじめとする感染対策として、陽性者が発生した場合でも迅速に対応できるよう毎月訓練を実施し、ご利用者に安心して利用いただくための体制を強化。

### ② 訪問看護ステーション

「訪問看護ステーション西大和」（ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

地域社会との連携・交流、

- ・看護技術の向上やケアマネジャーとの連携により、医療依存度の高いケアへの提供体制を強化。
- ・ケアの質の充実が新たな利用者に繋がることを全職員が意識し、地域で選ばれる事業所を目指す。

### ③ ケアプランセンター

「ニッセイせいいいケアプランセンター西大和」（ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

地域社会との連携・交流

- ・感染症や災害の発生に備えた業務継続計画の策定、訓練等の取り組みを在宅サービス室全体で行う。
- ・利用者満足度調査の結果ふまえたサービスの質向上により、選ばれる居宅介護支援事業所を目指す。